

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成 29 年 2 月 23 日 (2017.2.23)

【公開番号】特開 2015-143664 (P2015-143664A)

【公開日】平成 27 年 8 月 6 日 (2015.8.6)

【年通号数】公開・登録公報 2015-050

【出願番号】特願 2014-17369 (P2014-17369)

【国際特許分類】

G 0 4 R 60/12 (2013.01)

G 0 4 G 21/04 (2013.01)

【F I】

G 0 4 R 60/12

G 0 4 G 1/00 3 0 7

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 1 月 18 日 (2017.1.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 4】

ベゼル 8 2 の内側には、樹脂またはその他の非導電性材料で形成された環状のダイヤルリング 8 3 が配置され、ダイヤルリング 8 3 の内側には、円盤状の文字板 1 1 が配置されている。ダイヤルリング 8 3 には、例えば時刻（時）を示すバータイプの指標部材としてのインデックスが 3 0 度おきに設けられ、文字板 1 1 には、そのようなインデックスは設けられていない。ダイヤルリング 8 3 に示される情報および文字板 1 1 に示される情報は互いに異なっていればよく、図示の情報には限定されない。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 6】

基板 2 5 の上側には、金属またはその他の導電性材料から形成された給電ピン 4 4 が設けられている。給電ピン 4 4 は、スプリングを内蔵し、グランド板 9 0 に開口された挿通孔を貫通してアンテナ体 4 0 の給電部に接触し、地板 3 8 に開口された挿通孔 3 8 b（図 6 参照）を貫通して基板 2 5 と接触する。したがって、アンテナ体 4 0 の給電部は、給電ピン 4 4 を介して基板 2 5（厳密には、基板 2 5 上に設けられた配線）に電氣的に接続され、基板 2 5 から所定の電位がアンテナ体 4 0 に供給されている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 7】

また、本実施形態においては、ケース 8 0 は樹脂製でケース胴とベゼルが一体に形成されている。ベゼルの部分は、表面の一部が金属板のカバー 8 6 で覆われている。すなわち、電子時計の側面視においてアンテナ体 4 0 の少なくとも一部（アンテナ素子）を覆う部

分が金属で形成された部分を有している。このように、ケース 80 が樹脂であっても、その表面の一部が金属板のカバー 86 で覆われている場合には、GPS 衛星 20 からの衛星信号の電波が、金属板のカバー 86 によって遮蔽される。しかしながら、本実施形態においては、アンテナ体 40 の誘電率よりも高い誘電率の誘電体補助部材 41 をケース 80 とアンテナ体 40 との間に配置することにより、強い波長短縮効果を得ることができ、アンテナ体 40 を小型化できる。その結果、金属板のカバー 86 とアンテナ体 40 との距離を適切に離すことができ、アンテナ体 40 の受信感度の劣化を防止することができる。